税理士試験で最年少合格＆5科目合格者を多数輩出！！ 現役合格者を出す秘訣とは！？

学校法人 立志舎

東京IT会計公務員専門学校 大宮校
次長 髙橋 純一 様

東京ITプログラミング＆会計専門学校 錦糸町校
教務部 副主任 小倉 己羽輝 様

※本文中は敬称略

Q1：はじめに学校法人 立志舎について教えてください。

髙橋：本校は、1979年に簿記の専門学校「東京会計専門学校」としてスタートしました。後に公認会計士・税理士試験に分野を広げ、1983年には公認会計士試験、税理士試験に専門課程在学生から全国最年少合格者を輩出しています。同年に公務員コースを設置し、1年目で151名の現役公務員合格者を輩出しました。

その後、情報処理・マルチメディア・スポーツ・トラベル・医療と分野を拡大し、1999年に現在の「学校法人 立志舎」を設立し、私立の新設高校として、立志舎高等学校を開校しました。また最近では、動物分野の専門学校も開校しています。

現在では、文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」の設置校となり、23校の専門学校を展開する総合ビジネス学園として展開しています。

Q2：教育方針や授業の特長を教えてください。

髙橋：本校は「社会で活躍できる若者の育成」を通じて日本の産業界発展に尽力しています。各種資格試験の合格率・就職内定率・公務員試験の合格率に徹底的にこだわり、教育力だけではなく、コミュニケーション能力の向上に努め、若者と産業界から必要とされる教育機関を目指しています。

授業の特長は、本学の全学科・コースで「ゼミ学習」を導入しています。いわゆるグループ学習で、学生主体のアクティブラーニングを採用しています。アクティブラーニングは、討論のような堅苦しいイメージもありますが、本校では、分からないところを学生同士で教え合いながら授業を進める仕組みとなっています。

もちろん、黒板を使った講義はしますが、極力短くするよう心掛けています。その分、演習を多く取り入れ、演習の過程で分からないところが出てきたら学生同士がその場で解決しながら、全員で試験合格に向けて一つひとつ理解していくスタイルです。

分からない人のための勉強方法だと勘違いされやすいですが、理解できている人の知識の再確認の場でもあります。本当に理解できていないと相手に説明をすることはできませんので、相手に説明する中で、自分の知識の再確認をしながら進めていく勉強スタイルになっています。

勉強面だけでなく、聞く力と話す力も養われるので、就職活動にも役立ちます。資格さえ取れれば良いというものではないので、人間力を高めて、最終的に企業で即戦力となる人材に育て上げる指導をしています。

仕事をしていく上で最も重要なコミュニケーション能力を、このゼミ学習を通じて養いながら授業を展開しています。

Q3：税理士受験コースのカリキュラムについて教えてください。

髙橋：税理士コースは、2年制と3年制があります。1年次は、多くの学生が日商簿記検定試験(以下、日商)の合格を目指して勉強していきます。他の大学や専門学校を見ると、日商3級に合格した人が日商2級を目指すカリキュラムを採用していますが、本学では、1年生の6月から日商1級の試験を目指すカリキュラムを採用しています。

勉強は日商3・2級の内容からスタートしますが、2～3週間で学習を終わらせて、入学後2～3ヵ月で、6月の日商1級や7月の全経簿記能力検定上級(以下、全経上級)の試験合格を目指します。

試験に合格すると、9月から税理士受験コースが始まり、翌年2年次の8月まで11ヵ月間で税理士試験に向けて、簿記論・財務諸表論・法人税法・相続税法・消費税法の5科目を勉強していきます。

知の世紀を拓く TAC
【発行】TAC株式会社 法人事業部 東京都千代田区神田三崎町3-2-18 TEL:03-5276-8918
本誌は、著作権法その他関連法令によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。
法的に認められる場合を除き、著作権者の許可なく、無断で、複製、頒布、譲渡、貸与、転載、公衆送信等に使用することはできません 。

髙橋：11月に日商1級を合格した学生は、年明けの1月から税理士受験コースに合流します。ただ、1月からスタートした場合は、8ヵ月間という限られた時間で5科目の合格は難しいため、簿記論・財務諸表論・消費税法の3科目に絞って勉強していきます。

また、今年から2月の全経上級受験者も税理士コースに合流し、簿記論・財務諸表論の2科目を学習するカリキュラムを導入しました。

このように税理士受験コースは、日商1級、全経上級を合格するタイミングによって勉強する科目数も変わるので、全5科目を勉強したいという学生は、1年延長して3年制コースに進学し、残りの科目を勉強していく流れになっています。

Q4：税理士試験の会計科目・税法科目の指導方法について教えてください。

小倉：会計科目は、1年次に培った簿記の知識を基礎として、簿記論・財務諸表論では「問題の解答スピードアップ」、「理論の導入および演習」、「特有論点の理解」を重点的に指導していきます。税理士試験は時間内に解ききれなくとも合格できる試験なので、問題の取捨選択の見極め方や合格するためのノウハウが身に付くようにしています。

税法科目は、法人税法・相続税法を9月から約半年かけて基礎学習し、消費税法を1月から3ヵ月かけて基礎学習します。2年次の4月からは過去問解説や応用理論の解説をしていきます。

ただ、税法科目は、1年では学習が完成しないケースが多いので、2年目に1年次で勉強した知識のストックを基に受験する学生が多いです。

また、税法科目は、暗記だけに頼らないことが大切です。背景を一から説明することで、学生の反応は非常に良くなり理解が深まります。それぞれの制度や理論、背景にある理屈を極力話し、興味を惹くようにしています。

Q5：指導するうえで、苦労していることを教えてください。

髙橋：各校舎で1クラスにつき1人の講師が5科目全てを指導しています。1人の講師だと、どうしても税法科目の改正点など情報収集に苦労します。そのため、講師陣のコミュニティを強化して、「この改正点は、名古屋校の講師が詳しいから・・・」とか「この論点は錦糸町校の講師が詳しいので・・・」というように、各校舎の講師同士で連絡を取り合い知識の補完や情報共有を意識的におこなっています。

5科目を1人の講師が指導するのは大変ですが、1人の講師が指導することより学生の信頼度も上がりますし、自宅で過ごすよりも、はるかに講師と過ごす時間の方が長いので、学生と密な関係を築くことができます。

Q6：税理士コースで使用している教材や求めている教材について教えてください。

髙橋：導入期はインプット教材として、本校オリジナル教材を使用しています。オリジナル教材は、教材制作部門の制作スタッフと講師陣で開発し、会計科目、税法科目ともにテキスト・問題集・答練問題を使って授業を進めます。

直前期も本校オリジナルの応用演習プリントなどを使用しています。ただ、当年の改正論点や、実務において話題となっているネタを織り込みながら授業を進める必要がありますが、実務をしているわけではないので、外部事情がなかなか入ってきません。そのため、直前期の教材は、TACさんのテキスト・答練・公開模試を使用し、その点を補完しています。

小倉：求める教材としては、事例問題などを含めた教材があると非常にありがたいです。近年、税法は事例問題などを多く出題される傾向があるのですが、色々な出版社を探しても事例問題の出題が少ないので、事例問題が充実している教材があると良いですね。

Q7：2023年度の税理士の受験資格緩和による影響はありますか？

髙橋：会計科目の受験資格緩和で、希望者全員が簿記論・財務諸表論の受験ができるようになったことは、学生の将来に対する可能性を広げられる良い緩和だと思います。

ただ、本校は、簿記論・財務諸表論の学習に繋げるための簿記の知識が重要だと考えているので、日商1級や全経上級の知識をしっかりと積んだ上で、税理士受験コースに来るという流れは変わりません。

本校のカリキュラムでは税法の資格要件はクリアできますので、税法科目の受験資格緩和の影響はありません。現役税理士の方も同じことを言っていましたが、高校３年次に簿記論・財務諸表論を合格しても、その後進学した大学や専門学校でいきなり税法科目の受験はできないので、更に一歩踏み込んだ緩和策が今後あることを期待しています。

Q8：税理士5科目合格者の詳細と学生に合格させるコツがあれば教えてください。

髙橋：2022年度の第72回の税理士試験では、全5科目現役合格者は5名、その中の1名は全国最年少と同じ年齢の20歳で合格しました。

短期間で5科目を勉強させて、なおかつ合格まで導くためには、教えるだけの授業では成り立ちません。やはり、合格するためには本校のゼミ学習スタイルの効果は大きいと思います。

また、合格した学生の共通点は、24時間365日税理士試験のことだけ考えているというよりは、適度に息抜きをして、 メリハリある受験生活を心がけていることだと思います。例えば、休憩時間はクラスメイトとわいわい騒ぐ、体育祭や学園祭も楽しんで参加する。 その分、勉強の時間はとてつも

知の世紀を拓く TAC
【発行】TAC株式会社 法人事業部 東京都千代田区神田三崎町3-2-18 TEL:03-5276-8918
本誌は、著作権法その他関連法令によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。
法的に認められる場合を除き、著作権者の許可なく、無断で、複製、頒布、譲渡、貸与、転載、公衆送信等に使用することはできません 。

なく集中していたように思います。

税理士試験の大きなハードルとして理論暗記がありますが、5科目合格者は、丸暗記では通用しないことを感じており、授業中は理解することに努め、自宅で理論立てて暗記をしている傾向にあります。そのような学生が結果を出していると思いますし、卒業後、社会にでても活躍しています。

Q9：学生のモチベーション維持はどのようにおこなっていますか？

髙橋：同じクラスの仲間の存在は非常に大きいと思います。友達同士、切磋琢磨しながら1点でもより高いところを目指していくというライバル意識ですね。本校では、毎週月曜日にテストをおこなっており、本学園10校合わせた全国順位を発表しています。

「大阪校の学生は何点だったよ」とか「自分は下だったから悔しい」など、学生同士で色々な話をすることがあるので、それが良い意味でモチベーションの維持に繋がっていると思います。

Q10：卒業後の学生の進路について教えください。

髙橋：税理士コースに所属する半分の学生は、民間企業の経理や財務に就職します。民間企業においても、税務知識がある経理の人材は非常に重宝されているのが実情です。税務の勉強をして、税理士業界で生かすという道も確かにありますが、民間企業の経理や財務で活躍し、最終的にはその会社の責任者になって活躍している卒業生が多くいます。

残り半分の学生は、税理士事務所や会計事務所、税理士法人などの就職です。地域密着型の税理士法人や会計事務所に勤める卒業生も多いですね。また、色々な経験を積むことを目的に、あえて小規模な事務所に就職し、仕事を覚えたうえで、大きな事務所や企業に転職する卒業生もいます。

ただ、どのような進路を選んでも、簿記論・財務諸表論プラス税法1科目あれば、どの業界でもアピールできています。

Q11：貴校の今後の展開や方針についてお教えください

髙橋：本校は、「若者と産業界から必要とされる教育機関であり続ける」というコンセプトがありますので、今後も社会の変化に柔軟に対応していくべきであると考えています。

個人的には、税理士として税金の勉強をして、プラスアルファで「ファイナンシャル・プランナー」や「AI」の知識を学んでいけば、これからの世の中で、どんどん活躍の幅が広がっていくと思っています。ただ、本校ではそれらのジャンルについては別学科・コースがあり、税理士コースと統合することはできないのが実情です。今後は様々な勉強を複合的にできる環境を作っていきたいと考えています。

～ インタビューを終えて ～

今回は立志舎様にインタビューをさせていただきました。TACも社会人向けに税理士講座を開講しておりますが、立志舎様のカリキュラムと大きく違うため、指導方法など詳細をお聞きし大変考になりました。

また、TACは科目ごと担当講師が異なりますが、立志舎様は全科目1名の講師が指導していることに驚きました。学生の自主性を尊重した「ゼミ学習」の指導や学生へのキメ細かな対応が、最年少合格者や5科目合格者を多数輩出している理由であると感じました。

お忙しいところ、取材をお引き受けいただきありがとうございます。

【発行】TAC株式会社 法人事業部 東京都千代田区神田三崎町3-2-18 TEL:03-5276-8918
本誌は、著作権法その他関連法令によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。
法的に認められる場合を除き、著作権者の許可なく、無断で、複製、頒布、譲渡、貸与、転載、公衆送信等に使用することはできません 。